『健康な日本の創造』へ向け、大いなる飛躍の年に

日本商工会議所
会頭 山口 信夫

平成十九年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

経済成長を見据えたしっかりとした政策運営を

わが国経済は、全体としては堅調に回復し、成長率は低いながらも、期間は「いざなぎ景気」を超え、戦後最長となり大変喜ばしい限りです。

しかし、原油・素材価格の高止まり、米国経済の先行きや金利引上げの懸念、加えて定率減税の廃止や年金・保険料の負担増による個人消費への影響等、先行きの不安材料も少なくありません。地域経済や中小企業では、いまだ景気回復を実感できないところが多いのが実状であります。

地域の活性化はまちづくりと幹線道路網の早期整備で

日本商工会議所といたしましては、豊かで、安全・安心な社会を構築していくため、可能な限り高い経済成長の達成が必要不可欠であり、わが国の抱える諸課題の解決策としては、経済成長を基本に経済・財政の運営を図ることが何よりも重要であります。

その上で、中期的かつ喫緊の課題である実効ある少子化対策と教育の抜本改革、行財政改革の断行と持続可能な社会保障制度の確立、そして東アジアを中心とした経済連携協定の推進について早期に取組むことを提言し、その実現に努めてまいります。

一方、地域経済再生と中小企業活性化への支援は、会議所の重要テーマであります。まちづくり三法は改正がなされ、これからはその枠組みを活用して国、地方自治体、商店街、住民が一体となって、地域ぐるみで取組むことが大事であります。

また、地域にとって社会、経済、生活を支える基本的なインフラである道路については、昨年末に道路特定財源の見直しに関する閣議決定がなされ、商工会議所の要望してきた、「真に必要な道路整備は計画的に進める」ことが明示されました。今後も、引き続き強く要望してまいりたいと存じます。

中小企業の活力強化なくして日本経済の発展なし

さて、現在の景気は、主として大企業と中小企業の一部が牽引しておりますが、それを支え、日本経済の好調を維持しているのは、企業数の太宗を占める中小企業であります。中小企業がその活力を発揮していかなければ日本経済の発展もありえません。政府には、中小企業が本来有しているダイナミズムとバイタリティーを存分に発揮できるよう、中小企業対策予算の大幅な拡充はもとより、中小企業関連税制の是正・拡充を図るとともに、創業、経営革新、技術力強化、人材の確保・育成などの諸施策について万全の政策をしていただくよう、強く要望してまいります。

会議所・会員が一致団結して行動すれば、日本を動かす大きな原動力になることを実感しております。本年も希望に満ち活気あふれる「健康な日本の創造」に向け、全力で努力してまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申しあげます。

今年は更なる飛躍の年に
「いいひと　いいこと　つぎつぎ〝とちぎ〟」

栃木県知事
福田 富一

県民の皆様、あけましておめでとうございます。

私は知事就任以来、県民誰もが豊かさを実感できる〝とちぎ〟を創り上げていくため、対話と協調による県民中心、市町村重視の県政運営を基本とし、各種施策を積極的に展開して参りました。その結果、昨年は子どもに対する医療費助成の小学三年生までの拡大や三歳未満児への現物給付の導入、「わがまち自慢推進事業」の創設など、元気で活力ある〝とちぎ〟づくりのための各種施策を市町村と連携して進めることができました。

今年は就任三年目を迎えますが、常に県民の皆様の声に耳を傾けながら、昨年策定しました総合計画「とちぎ元気プラン」の目標達成に向け、全力を挙げて取組んでいく決意を新たにしたところです。

現在、少子高齢化の進行や本格的な人口減少時代の到来等が経済や社会に様々な影響を及ぼすと懸念される中、地方自治体においては、財政の健全化や行政改革の推進、さらには医療福祉の充実、安全安心のまちづくり等多様化するニーズへの対応など、様々な課題を抱えております。

今後とも社会の活力を維持し、県民生活の質的向上を図っていくため、県民一人一人の個性や能力をはじめ、自然や文化、産業基盤等、本県の優れた資源を活かし、飛躍の可能性を最大限に引き出しながら、県民や市町村との信頼と責任あるパートナーシップのもと、直面する課題の解決に向けて、勇気を持って果敢にチャレンジしていかなければなりません。このため、今年は県庁組織の大幅な改編を行い、県の政策形成機能を担う総合政策部を創設するなど、組織横断的な課題等へ迅速かつ的確に対応できる体制を整えることといたしました。

また、少子化対策を強化する他、団塊世代の豊富な知識や経験を地域の活性化に活かす「団塊の世代に着目した〝とちぎ〟の元気づくり」に着手するとともに、いじめや自殺対策等に積極的に取組んで参りたいと考えております。

県民の皆様におかれても、「新たな〝公〟を拓く」という考え方に立ち、それぞれの立場や垣根を乗り越えて、郷土の課題の解決に向けて協働して取組んでいただくことを期待しております。

私は、今年を更なる飛躍の年とするために、「いいひといいこと つぎつぎ〝とちぎ〟」を合言葉として、県民の皆様と手を携え、元気で活力ある〝とちぎ〟の実現のため最大限の努力を傾注して参りたいと考えておりますので、より一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

年の始めに当たり、所信を申し上げますとともに、本年が商工会議所会員の皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。

謹賀新年

佐野商工会議所
役員・議員一同

会頭	信興雄之男
副会頭	一夫一治治明夫夫覚夫三樹一博章雄孝雄茂
〃	彦文祐仁彦彦勉男滋一勇司之介行
〃	重英克雅初憲卓有幸友　静孝　孝聖章浅一幹重　良
〃	澤崎井井村野名藤澤下中本渡山倉海田澤波藤子井川根
〃	唐神石筒田小桑安白宮山松二亀石天廣吉藤加金横吉関
〃	早亀大三蛭井恩藤亀茂兵内菊長菊
常議員	一宏康　寿克　邦　純　隆洋信宏
〃	二内夫行司泰次人三夫男人容雄宏司郎次雄人史道二郎男
〃	好嘉壮喜堅　三義良哲康眞誠一勝博信重隼昭正宣福恒悦善
〃	田田岩合島原崎倉崎田原澤村岡崎崎野田澤　沼田井沼
〃	亀島平落矢笠川小篠太栗田岡上篠篠磯栗柳原蓼増三蓼
〃	戸川屋部林村橋田田川山部名川崎村田
〃	石土水小木柳福嶋小亀阿椎大山木米
監事	秀壮公紳誠　修弘竹　金清
議員	

友愛会館を拠点に「足利ルネッサンス」の一層の推進を

足利商工会議所
会頭 板橋敏雄

新年明けましておめでとうございます。

足利商工会議所は、足利銀行発祥の地にあった三代目本店の建物を購入し、昨年二月「友愛会館」として完成させ、地域の方々と一体となって様々な事業を展開、昨年末で延べ十八万人が友愛会館を訪れました。

友愛会館の完成から二年目を迎える本年は、昨年十月に開催の第三十二回会員大会において決議された、四項目について、目に見える成果を挙げていく覚悟であります。

当所は、産業振興のみならず市民福祉の向上とまちづくりを推進する市民会議所として、「足利再生・足利ルネッサンス」運動を一層推進してまいります。

ものづくり人材育成の更なる推進

太田商工会議所
会頭 荻原栄一

新年あけましておめでとうございます。

太田商工会議所では、「ものづくり人材育成の推進」「まちづくりと観光資源の活用促進」「地産地消・地場産品愛用の推進」などを重点事業として展開し、中小企業の皆様をバックアップしております。

また、製造業を基幹産業とする「ものづくり」市として、昨年度より二〇〇七年問題による雇用問題や技術者の継承問題などの観点から「金型学科」の早期設置を要望いたしております。

今後も地域経済の発展に大きく貢献できるように、実効性のある事業を積極的に展開していく所存です。

事業者の拠り所として

桐生商工会議所
会頭 佐藤富三

両毛五市会議所会員の皆様には明るい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

桐生商工会議所は、部会・委員会の活動強化、異業種交流の推進、創業支援等により、産業活性化につなげ、産学官連携では、昨年から群馬大学工学部との交流会をスタート。会員が気軽に交流できる場をつくり、さらに知的資源の集積を活用し、共同研究イノベーションセンター等との連携を深め、効果的な産学連携につなげる動きを展開して参りたいと存じます。

平成十九年も経営に関する悩みや相談などに積極的に耳を傾け、事業者の拠り所となるパートナーとしての役割を果たしていくとともに、地元経済を守り育て、伸ばしていくための施策を確実に、かつ積極的に講じていきたいと存じます。

地域経済活性化をめざして

館林商工会議所
会頭 河本榮一

平成十九年の輝かしい新春を迎えられ、謹んでお慶び申しあげます。

我が国経済は、昨年ようやく長期的なデフレを脱し、「いざなぎ景気」を超える景気拡大期となりましたが、地域経済の回復は、いまだ遠いところにあるというのが実感であります。

館林商工会議所では、今や、希有の困難な時代にあって、地域総合経済団体としての課せられた使命の重さを再認識し、現下の厳しい経営環境に直面している中小企業を支援するため、迅速な情報収集提供やホームページ等による情報公開を積極的に進め、地域経済と商工業の健全なる発展のため全力をあげる所存であります。